

やまのうち通信

第199号

その①

令和5年11月20日

山内自治振興センター

庄原市山内町 813-4

TEL・FAX (0824) 74-0451

✉ yamanouchi.jichi@gmail.com



↑フェイスブック
QRコード



YAMANOUCHI CHISHINKOKU

↑インスタグラム
QRコード

第39回 令和5年度山内ふるさと祭り開催



11月12日(日)午前9時から山内自治振興センター、山内小学校体育館、山内小学校グラウンドを使って山内ふるさと祭りが開催されました。コロナウイルスの関係で、令和元年を最後に3年間開催できずにいましたが、4年ぶりに開催することができました。午前10時から開会式を行い、約400名(そのうち子ども約100名)の参加がありました。



ステージでのアトラクションでは、三次消防音楽隊の吹奏楽の生演奏とカラーガードの演技、上田・岡田さんたちのギター演奏と歌、放課後子ども教室の皆さんによる「アイドル」という曲のダンスが披露され、来場した皆さんを楽しませてくれました。



今年は自治振興センター駐車場と小学校グラウンドをを使っての各自治会による出店(日向、大下、行里、開拓、高茂)、女性会によるうどん等の販売や、相扶園、里山の夢ファーム、JA ひろしま、青空事業所、クィーンズジェラート、洋裁教室など出店販売が行われました。



また、山内自治振興センターと山内小学校体育館では、各教室（生花教室・手編み教室・書道教室・洋裁教室・ジャンプ・写団アルファ・放課後子ども教室）や山内絵画の作品展示が行われました。



今年も株式会社 NGC 様から卵を無償提供いただき、恒例のたまごのつかみ取りを行いました。たまごのつかみ取りは大盛況で10時40分頃に終了しました。山内小学校 PTA と山内保育所保護者会では、日用品のフリーマーケット、キッズプレイスペースを設けての子ども遊び場の提供、児童園児の作品展示なども行われました。



14時頃から、あらかじめ参加者全員に配布してあった抽選券の抽選を行いました。今年は多くの人に豪華賞品が届けられました。ふるさと祭りを開催するにあたり、お店紹介の POP 作成やテント設営、ステージの設置やお祭り終了後の片付け等、たくさんの方々のご協力いただきました。ありがとうございました。

おくりもの

10/14～11/16

◆香典返し

山内町 曾根 淳治様（故 忠夫様）



ご芳志ありがとうございました。ご趣旨を大切に地域の社会福祉増進及び地域振興の資金として、活用させていただきます。

山内地区社会福祉協議会

12月 予定

- 6日 自治振興センター年末大掃除(午前・午後の部)
- 12日 ふれあい給食
- 14日 社協セミナー
- 19日 ふれあい給食
- 20日 自治会長会



先日、身内に不幸があり、いろいろなことを考えている時に終末期の医療にかかわる記事が目にとまりました。

終末期医療とは、人生最終段階の時期に行われる医療のことです。

記事によると、日本では長年終末期を含む医療への期待と信頼が大きいことから、ともすれば医療優先になりがちで、「健康」のため糖質やコレステロールなどの過剰な制限をかけ、美味しいものを排除するなど、「生活」の楽しみを犠牲にする人も少なくないようです。

そのため、終末期となり、医療による回復の見込みがなくなった瞬間に楽しみや希望を失ってしまう人が多いことが指摘されていました。

終末期に最期まで生きる希望を失わないためには、医療とケア(生活の視点)のバランスが大切になってきます。医療とケアは2つの噛み合った歯車のように廻っていくのが理想です。



高齢者に対するコレステロール治療についての例で考えてみましょう。

■医療の視点から

コレステロール治療を行うことによって、脳梗塞や心筋梗塞の先送り効果は、約0.5年になるなど余命にかかわるデータがあり、これは未来に向けて健康を回復していく。



■ケア(生活)の視点から

食事、おしゃれ、趣味、仲間や友人との交流などで「今、どんな喜びを見出すか」に主眼を置き、これまでの生活の継続と、今の生活の質を向上させていく。



この両輪が揃うことによって、健康のために生活を犠牲にすることなく、その人なりに「今」を生きることができるようになるのです。

「健康長寿」は何よりも大切なことですが、生活が犠牲となって、生活の中から当たり前の感覚を置き去りにせず、「今」の感覚を大切にして、終末期の生活も充実したものであって欲しいと思います。

参考資料:「ケアマネジャー」2023年3月号「図で理解するこの国の大モンダイ」より抜粋

相扶の郷居宅介護支援事業所 正畑 知里

年末年始休みのお知らせ

皆様には平素より山内自治振興センター利用の際は、ご協力いただきありがとうございます。

12月28日(木)~1月3日(水)まで、事務局はお休みをいただきます。

施設をご利用の際には、エアコン等の切り忘れや火の取扱いに十分注意をしてください。ご利用の際は、事前予約をお願いします。また、感染症対策をして感染防止に努めましょう。



11月環境パトロール隊



右から、國利昌司さん、横谷誠さん(撮影者)、岡崎輝子さん

おたがいさまネット 「アンケートにご協力お願いいたします」

当山内地区で取り組んでいる「おたがいさまネット」は足掛け13年目を経過しています。身近な地域で一人暮らし高齢者の方が孤独死されていたことが契機になり、住民ぐるみで取り組む「見守り活動」として始まりました。全国的にも一人暮らし高齢者が増加している中、住民通しが「気をかけ合い」「支え合い」によって、安心して暮らせる仕組みを作ることが地域を問わず求められています。当地区でも今年度から始まった「農村 RMO 事業」の生活支援分野の活動において「おたがいさまネット」の継続と発展を目指していくことになりました。

この様な折、山口県立大学社会福祉学部の坂本俊彦教授より、山内地区住民を対象とした「住民の助け合いによる見守り活動に関するアンケート」の実施要請がありました。



坂本教授には早くから市社協を通じて当地区の「おたがいさまネット」事業に注目していただき、平成26年12月には1回目の調査アンケートを実施されています。今回は「高齢者在宅生活支援システム構築方法に関する比較事例研究」として、自治会を運営主体に「見守り活動」等を継続している山内地区が対象になりました。アンケート自体は研究目的ですが、得られた結果は今後の「おたがいさまネット」事業の取り組みに活用させていただくことになっています。

尚、アンケートは無作為抽出法によって選挙人名簿抄本から抽出された、山内地区在住の20歳以上600名が対象になります。また予定では来年1月に郵送配布・郵送回収となっています。

この件についての区民の皆様のご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。



地域マネージャー 三上智道

注意喚起 山内地区 熊の出没情報

11月10日(金)水後小学校付近で熊の目撃情報がありました。また、11月13日(月)の夜には平和町の谷本モータース近くの柿の木の実が食べられ、枝もへし折られた状態で発見されました。



↑熊の爪痕がついた柿木

小学校の通学路や老人ホーム相扶園も近く、周辺にはまだ柿の実がある柿の木がある状況です。各自、人間の存在を知らせる鈴を着用するなど、熊と遭遇しないような対策をとりましょう。



投稿写真 寄せ植えを行いました！



↑高茂いきいき会のみなさん

11月15日に恒例の『寄せ植えを楽しむ会』を実施しました♪世間話などにも花が咲き楽しむ事が出来ました。



↑行里サロンのみなさん

11月15日に秋冬の寄せ植えをしました♪





第2回山内自治振興区主催グラウンド・ゴルフ大会開催



11月1日(水)午前9時30分から12時半ごろまで、備北丘陵公園内のグラウンド・ゴルフ場において、第2回山内自治振興区主催のグラウンド・ゴルフ大会が行われました。17名の参加があり24ホールを回り順位を付けました。成績は以下の通りです。



←優勝した藤川シズ子さん

成績発表

- 優勝 藤川シズ子さん
- 準優勝 垣智加子さん
- 3位 竹下悦子さん
- 4位 百間不二夫さん
- 5位 藤谷都多子さん



第2回庄原市自治振興区連合会主催グラウンド・ゴルフ大会開催

10月27日(金)午前9時から、西城町「道後山高原クロカンパーク」にて、庄原市自治振興区連合会主催グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。これは庄原市内の自治振興区が一堂に会し、他地域の区民とグラウンド・ゴルフを通じ親睦と交流、さらには健康増進を図る目的で昨年度から開催されているものです。

成績発表

女性の部

第1位 垣智加子さん



山内自治振興区チームは、団体成績では14自治振興区中第13位と振るいませんでしたが、個人成績では、女性の部1位や男性の部で飛賞に2名も入るなど、活躍されました。次回の奮闘を期待しましょう。



←女性の部第一位 垣智加子さん

第2回市老連会長杯グラウンドゴルフ大会参加



頑張って参加してきました!

グラウンド・ゴルフの健康効果について

- グラウンド・ゴルフを行うことによって、1日当たりの歩数や身体活動量が増加します。
- 芝や土に上を歩く事で、腰や膝への負担が軽減され、足腰も鍛えられ運動能力のアップに繋がります。
- 仲間とグラウンド・ゴルフを楽しむことで、人と接する機会が増えたり、体を動かす時間が確保されたりすることにより、心身に良い効果が表れたと考えられます。



定住促進プロジェクト(空き家活用)だより

県の委託事業『さとやま GOOD プロジェクト』紹介頂く♪

10月14日【山内てごおし隊活動】の体験に県内外から参加されました。

【未来につなぐ日本の木の家。ゴミを資源に、空き家を開き家に！！】

空き家の実情について理解を深め、その活用に興味のある人により細かな活用方法を考えていただくプログラム。定員12名と山内てごおし隊19名。個人では仕分け作業に何か月もかかりそうな大きなお宅でしたが、なんと1時間半で仕分け終了しました！！人の結いは偉大なり。

空き家提供のハードルを下げることや“ねき(身近)”の魅力を楽しむことから始めた取り組みは、63名の移住につながっています。このプログラムでは、実際に空き家片付けを体験。さらに、てごおし隊の運営の仕組みやこれまでの取り組み、地域と移住者のつなぎ方や活動で大切にしていることなどをお伝えしました。お昼は、空き家古民家「やまの家」で田舎の「てご飯」を地元の皆さんが作っていただきました♪



「これならできる！！」と思って頂けたことが嬉しく、
その後も市内外何地区からも視察・依頼いただいています。

第16回 霜月の暮らしごと 古民家体験事業

やまの家実行委員会主催

石窯は、耐火レンガを毎回数段ずつ積み上げます。

11月26日は9時～15時
石窯の土台作り・秋を遊ぼう！！



ゆしずつゆっくり創る！！

(写真は10月28日の様子です。)



何時からの参加
でも大丈夫です。

参加費300円



お昼は、木こりのろうそくで作る卵焼き、ウィンナー♪
鯉こく(郷土料理)・里山の夢新米を羽釜で。食器持参してね♪